



社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会 広報誌

ながくて

No.125
令和7年7月発行



この広報誌は、
会費を活用して
発行しています。

長久手市社会福祉協議会
イメージキャラクター
福えもん



INDEX

寄付等のご報告
コロナ特例貸付の償還・日常生活自立支援事業について
夏休み作品募集案内・福祉体験作文コンクール優秀作品紹介
「働く」を通して一步を踏み出しやすいまちづくり
CSWの紹介
知って得する「フレイル予防」

表紙の紹介

木下紗希さん製作の紙すきリリースです。この作品はお兄さんの結婚式のために作りました。木下さんは脳性まひがあり車いすで生活しています。同じように見える一つ一つのお花も、はまるところとはまらないところがあるそうで、出来上がった時の達成感が次の作品へ取り組む意欲になっています。紗希さんの作品の一部は中央図書館横の楽歩（らふ）カフェで常時見ることができます。

寄付のご報告 (令和6年11月～令和7年6月)

- ・日産緑化株式会社 様 高齢者疑似体験教材エキスパートセット 3セット

皆様からのご寄付は
福祉の向上のために
活用しています。
ありがとうございます。
ございました。



フードドライブ事業への協力企業 (令和6年度) (順不同)

- ・愛知ダイハツ株式会社/ADWホールディングス株式会社 様 株式会社豊田中央研究所 様
- ・社会福祉法人あいち福祉会 たかぎ作業所 様 株式会社ハートリー 様
- ・赤門ウイレックス株式会社 様 Footage 訪問看護ステーション長久手 様

新型コロナウイルスの影響による特例貸付を利用された方へ

令和2年3月から令和4年9月までに新型コロナウイルスの影響による特例貸付を受けた方に、返済や免除に関する案内が愛知県社会福祉協議会から送付されています。返済や手続きなどでお困りではありませんか？

返済や免除など
手続き方法が
分からない、
送付された書類が
見あたらない



自分の返済が
いつ始まるか
分からない



返済しているが
現在の状況では
今後の返済が難しい



問合先 権利擁護チーム ☎0561-62-4700 までお気軽にご相談下さい。

日常生活自立支援事業をご存知ですか？

日常生活自立支援事業とは、軽い認知症や知的障がい、精神障がいでご自身での判断に不安を抱える方が、住み慣れた地域のなかで安心して生活できるように、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理のお手伝いをする事業です。こんなお困りごとはありませんか？

公共料金の
支払いやお金の
出し入れをして欲しい



ヘルパーさんを
頼みたいけど
どうしたら
いいんだろう



通帳や印鑑を
なくしてしまいそう



● このようなお困りごとの解決のため、次のようなお手伝いをします。 ●

福祉サービス利用のお手伝い

- ・福祉サービスを利用する、または利用をやめるために必要な手続き
- ・福祉サービスの利用料を支払う手続き など

福祉サービス利用のお手伝いにあわせて、次のようなお手伝いもします。

日常的なお金の出し入れをお手伝い

- ・年金及び福祉手当などの入出金手続き
- ・日用品等の代金を支払う手続き

大切な書類等をお預かり

- ・年金証書、預貯金通帳、権利書、実印など

※利用には利用料がかかります。 ※利用にあたり契約締結審査会の承認が必要です。

問合先 権利擁護チーム ☎0561-62-4700 までお気軽にご相談下さい。

夏休み作品コンクール応募作品募集

① 令和7年度福祉体験作文コンクール

提出期限：9月12日(金) 必着

■対象：小学1年生から高校3年生

このコンクールは、地域や家庭、身近なところでの体験、学校での福祉実践教室やボランティア活動等の体験について、自分の考えや感じたことを作文に表すことで、誰もがともに生きる福祉の心を育てるため、毎年愛知県社会福祉協議会が実施するものです。

昨年度の応募作品の中から優秀作品に入選した作文を紹介します。



令和6年度 福祉体験作文コンクール 優秀作品

だれかのえがおのために

長久手市立南小学校二年

大家 明奈

わたしは、一年生のふゆにかみの毛を35センチ切りました。なぜかと言うと、ヘアドネーションをするためです。

わたしが三さいのころ、びょう気のちりようでおじいちゃんのかみの毛がぬけてしまいました。そのとき、おかあさんからヘアドネーションを覚えてもらい、

やってみようと思いました。それから四年かんかけて、かみの毛をのばしました。のばしているときは、かみの毛がからまらないようにトリートメントをして、きれいにのばすど力をしました。かみの毛が長くなってからは、おふろであらった

り、かわかしたりするのが大へんでした。かみの毛を切る日になって、目ひょうにしていたヘアドネーションがやつとできると思い、とてもワクワクしながらびょういんに行きました。びょういんに、

きふができる31センチいじょうの長さになるようにはかってもらい、すこしずつたばにしてかみの毛を切りました。切っているときは、後ろが見えないので、ドキドキしました。そして切りおわってか

がみを見てみたら、大切にしていたかみの毛がみじかくなっていて、とてもかなしい気もちになってしまいました。切ったかみの毛を家にもちかえり、その日は

かなしい気もちのまますごしました。

つぎの日、学校でかみの毛がみじかくなったわたしを見て、先生やともだちはびつくりしていました。先生に、ヘアドネーションのためにかみの毛を切ったことを話すと、

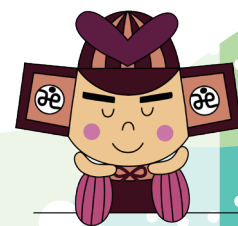
「すごいね。かっこいいね。」

と、ほめてもらえました。先生に自分がしたことをほめてもらえて、それまでのかなしい気もちはなくなって、えがおになりました。

わたしは、かみの毛をみじかく切っただけでかなしい気もちになったけれど、びょう気でかみの毛がぬけてしまったり、はえてこなかったりする子はもっとかなしい気もちになっているのではないかと思います。

切ったかみの毛は、ふうとうに入れて、ウィッグをつくるかつどうをしているだん体におくりました。わたしのかみの毛が、今どうなっているかわかりませんが、今どうなっているかわかりません。でも、ウィッグになって、だれかがえがおになっているといいなと思います。

わたしは、またかみの毛をのばしています。四年後もう一どヘアドネーションできるようにがんばりたいです。



② 第77回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

この作品コンクールを通じて、児童生徒の社会福祉に対する理解をより一層深め、「たすけあい」の心を育成するために愛知県共同募金会等が毎年実施しています。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

書道の部

提出期限：8月31日(日)

■対象：小学3年生～中学3年生

ポスターの部

提出期限：8月31日(日)

■対象：小学1年生～中学3年生

提出方法

学校名・氏名など必要事項をご記入の上、本会窓口へ持参または郵送してください。たくさんの応募をお待ちしています！



「働く」を通して一歩を踏み出し

～長久手市障がい者自立支援協議会就労支援モデル開発プロジェクトの活動紹介～

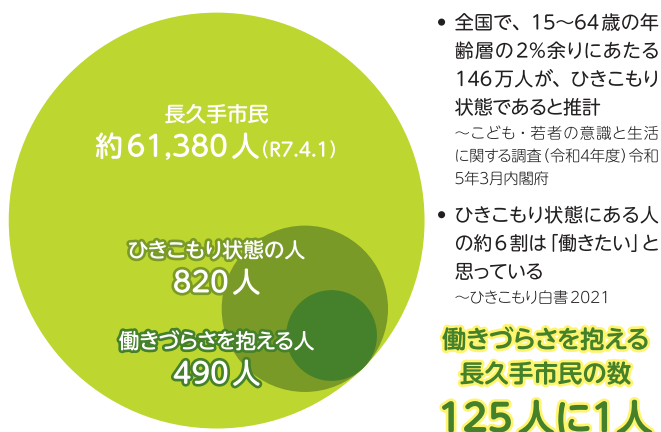
はじめに

国の調査によると、心身の不調のほかに、就職活動でのつまづき、退職、職場になじめなかったことを、ひきこもり状態になったことの主な理由として挙げている人が少なくありません。(※1)

就労の困難さが、ひきこもり、二次障がい(※2)の発生、長期的には生活困窮・社会的孤立などにつながる恐れがあるにも関わらず、働きづらさを抱える人が、一歩踏み出す際の選択肢は十分ではありません。また、悩んでいても相談することは非常にハードルが高く、支援機関が把握することが困難です。

そこで、長久手市では、既存の相談窓口や支援制度とは異なる、多様な働きづらさを抱える人の就労を支援する新たな仕組みが必要であると考えました。

※1 こども・若者の意識と生活に関する調査(令和4年度)による
※2 もともと持っている発達障がいや身体障がいなどの一次障がい
が原因で、後天的に生じる精神的・身体的な問題のこと



参加事業者インタビュー

interview 01

(合同)AYAKA ASSOCIATION まちの台所「風と虹」

関根さん・田中さん

飲食業



心がけたこと

本人のペースに合わせて、話をし、お互いの理解を深めていきました。話をすることで、仕事の量や内容も工夫していききました。

エピソード

彼が、デザート作りが得意であることを知り、お店でシュークリームを作るイベントを実施しました。普段は1人で作っているけど、多くの人と一緒に作る楽しさを体感してもらえました。

interview 02

(一社)長久手アグサポ倶楽部

成瀬さん

農業



心がけたこと

体調面で無理しないようにすることと、作業がうまくできなくても気にすることがないように、少しずつ、ゆっくりと進めました。次に向けた一歩になればいいな、という気持ちで接しました。

エピソード

Tさんが作業途中にスマートフォンで田園風景の写真を撮っていたのが印象的でした。働く場所として新鮮だったのだらうと思います。

interview 03

(株)トビラ memene balloon

長崎さん

バルーン制作



心がけたこと

はじめは、とても緊張した様子でしたが、雑談をすることで徐々にほぐれていきました。とても真面目で、仕事もどんどん覚えてくださいました。

エピソード

とても手先が器用な方でした。バルーン制作もどんどんコツをつかみ、プレゼント用のバルーンのデザインを一緒に考え、サンプルづくりから制作まで取り組んでいただきました。

やすいまちづくり



事業の目的・概要

就労支援モデル開発プロジェクトは働きづらさを抱える人が、身近な場所で短時間、短期間から働いてみることを通して社会参加のきっかけをつくることを目的としています。令和6年度に3名が市内の協力事業者で働き、一步を踏み出しました。将来的には、事業者と行政と協働による就労支援プラットフォームをつくり、働きづらさを抱える人が多様に働ける社会に向けて取組を進めます。

地域のみなさまへ

働きづらさを抱える人々が、「働く」ことを通して幸せを実感でき、また、より多くの人が身近な場所で働き活躍できる持続可能な地域をともにつくりませんか。誰もが能力を活かして働くための環境づくりを、市及び福祉の専門家が一緒に考え、フォローします。

本事業の趣旨に賛同し協働いただけるみなさまからのご連絡をお待ちしています。

挑戦してみたい方へ

働く一步を踏み出してみたい方は問合先までご相談ください。

問合先

障がい者相談支援センター

☎ 0561-64-2333 FAX 0561-64-2337

✉ shogaisoudan@hm.aitai.ne.jp

(月曜日休み・月曜日が祝日の場合、翌平日)

働いたKさんより

新しいことにチャレンジするときには、毎回嫌じゃないか聞いてくれて、安心して働くことができ、人とよく話せるようになりました。バイトの面接が苦手だったので、事前に自分のことを知っている場所で働くことができたことも良かったです。バイトへのハードルも下がりました。



働いたTさんより

体を動かす仕事は自分に合っているようで、農業をもっとやってみたいという気持ちになり、自宅でも、プランターで野菜づくりに挑戦しています。一緒に働く人が「恐くないから大丈夫」と思えるようになってからは楽しめました。ステップアップに向け、この体験はとても効果的だと思います。



働いたNさんより

はじめは1週間に1時間でも体力的に厳しいと思いましたが、実際は短く感じ、もう少し長く働くことができるかもと感じました。まずは働いてみて、その先の働き方を考え、選択できることがよいと思います。市役所の方などのフォローもあり安心して働くことができました。



CSW

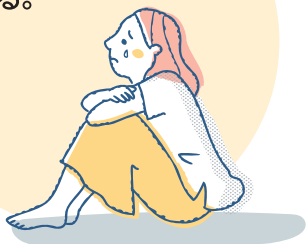
コミュニティー
ソーシャルワーカー

コミュニティソーシャルワーカーとは、「福祉のなんでも相談員」です。どこに話したらいいのかわからない悩みごとの相談、居場所づくり等のお手伝い、ボランティア同士の交流など、地域の方にとってより身近な相談員を目指しています。

例えば…こんな相談に対応しています

暮らし

- 近所に気になる人がいる。
- 隣の敷地から草木が伸びてきて困っている。
- 仕事がなかなか探せない、生活が苦しい。
- 生きづらさを感じる。



つながり作り

- 「集いの場」に参加したい。
- 「集いの場」を始めたい。
- 地域活動に参加したい。



* 集いの場とは…住民同士が気軽に集い、誰もが参加できる参加交流の場です。体操したり、お茶を飲みながらおしゃべりしたり、趣味を楽しんだりしています。

高齢者

- 高齢で1人暮らしなので、いろいろと心配。
- 介護保険の手続きはどこに相談したらよい？



子ども

- 子どもがひきこもっている。
- ひとり親家庭で大変。
- 近所に心配な子どもがいる。
- 子どもの同級生がヤングケアラーかもしれない。



長久手市には、各小学校区に担当CSWがいます。ぜひ、お気軽に活用してください。

相談の秘密は厳守します。相談は無料です。

東小学校区・
長久手小学校区



加藤

北小学校区



湯浅

西小学校区・
南小学校区



前田

市が洞小学校区



真鍋

65歳以上の方もこれから65歳になる方も 知って得する「フレイル予防」

フレイルとは？

フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階を指します。

加齢などにより無自覚に進行するという特徴がありますが、効果的なフレイル予防に取り組むことで、虚弱状態を改善できることがわかっています。

身体的フレイル

運動機能の障害による
移動機能の低下、
筋力低下など

社会的フレイル

独居や退職等による
外出機会の減少、
他者や社会との繋がりの希薄化

精神・心理的フレイル

退職やパートナーを失うこと
によるうつ症状、
軽度認知症状の現れ

この3つのフレイルが連鎖していくことで老い（自立度の低下）は急速に進みます。この連鎖のどこが入り口になるかは人それぞれです。老いとは決して身体の問題だけではないのです。

あなたの状態は…？



まずはフレイルについて知ってください。

効果的に介護予防に取り組めるよう、以下の内容を実施していきます。

知る

- フレイル予防について気軽に知ることができる「フレイル予防学びの場(福祉の家内)」の創設。
- 自らの心身状態を知り、対策についてアドバイスを受けられる「どこでもいきいき教室(体力測定)」の実施。



対策する

- どこでも介護予防に取り組める「介護予防動画コンテンツ」の提供。

知識を得る (認知症対策)	知識を得る (フレイル対策)
知識を得る (事故・トラブル)	有酸素運動
総合運動	筋トレ
デュアルタスク	脳トレ
芸術プログラム (基本)	芸術プログラム (応用)
ボイストレーニング	音楽プログラム

- フレイル状態になってしまいそうな方に対して「個別的な予防のアドバイス」の実施(準備中)。

フレイル状態に陥っても元の生活に戻れるよう、長久手市では現在モデル事業を実施中です。



長久手市では、従来の介護予防の仕組みを見直し、「元気な人はいつまでも元気に!」、「できないことが増えてきても、元の暮らしを取り戻せるように」、高齢者の皆様がいきいきと生活できるような地域を目指しています。

問合先

高齢者相談支援チーム

☎0561-64-1155

ふくし丸ごと何でも相談できます。

さまざまな困りごと・悩みごとの相談窓口



相談無料
秘密は
守ります

生活相談

くらし・しごと・つながり支援センター

経済的なことなどで生活にお困りの方の生活再生をサポートします。

☎ 0561-62-4700

✉ nagakute-shakyo-seikon@hm.aitai.ne.jp

火曜日～土曜日 9時～16時



生活

家計 仕事

高齢者相談

地域包括支援センター

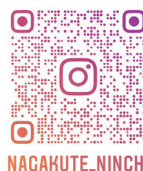
(長久手・東・北小学校区エリア)



高齢者の皆さんを、介護・福祉・医療・権利擁護など、さまざまな面からサポートします。介護保険や認知症、日常生活の困り事など、お気軽にご相談ください。

☎ 0561-64-1155

Instagramで
認知症に関する
ことなどを発信
しています!



NAGAKUTE_NINCHI

介護

健康 権利

障がい相談

障がい者相談支援センター

障がいのある方や難病患者の福祉に関する相談に対応します。日常生活の困りごと、福祉サービスの手続き、就労相談、病院や施設から地域へ移るための相談など、お気軽にご相談ください。

☎ 0561-64-2333

✉ shogaisoudan@hm.aitai.ne.jp



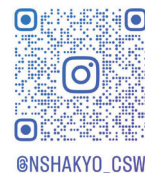
なんでも相談

コミュニティソーシャルワーカー (CSW)

CSWは「地域の福祉のなんでも相談員」です。市内在住であればどなたでも相談でき、ちょっと話を聞いてほしい内容から、ひきこもりや近隣トラブルなど、どこに相談したらよいかわからない問題にも対応しています。悩みの大小に関係なく、お悩みごとについてお聞きし、解決に向けて一緒に考えます。

☎ 0561-62-4700

✉ nagakute-shakyo-csw@hm.aitai.ne.jp



@NSHAKYO_CSW

日常生活自立支援事業

権利擁護チーム

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方に対し、福祉サービスの利用に関するお手伝い、日常的な金銭管理や預金通帳などの書類のお預かりなどをします。事業の内容についてはお問い合わせください。※利用にあたり、契約締結審査会の承認が必要です。

☎ 0561-62-4700

✉ nagakute-shakyo-seikon@hm.aitai.ne.jp



編集・発行



社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会

【開館時間】 9時～17時 【休館日】 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合、翌平日）

福祉のまち ながくて 第125号 令和7年7月発行 〒480-1102 長久手市前熊下田171 長久手市福祉の家の内

☎ 0561-62-4700 FAX 0561-64-3838 ホームページアドレス <https://www.nagakute-shakyo.or.jp>



本会HP